



締切
1月31日(月)

みんなでコロナを乗り越えよう

#さつま町エール便

町の逸品を贈呈 モニター登録者募集

登録はこちら



Check! 01 町を愛する町外の方へエールを

新型コロナウイルス感染拡大による地域経済への影響が長期化する中、事業者支援と地域の消費促進のために全国のモニターに町の逸品をお届けします。

Check! 02 P Rしてくださる町外の方が対象

町外に住む18歳以上の方（酒類は20歳以上）で、さつま町応援団に協力できる方が対象です。申込みいただいたメールアドレスに町の情報を送ります。SNSなどで「#さつま町エール便」で投稿し、町のP Rにご協力ください。離れて暮らすご家族やご友人にもご紹介ください。

Check! 03 申込みは町ホームページから

申込みは1人につき1回限りです。当選発表は、町の逸品の発送をもって代えさせていただきます。

応募者からのメッセージ

さつま町は自然に恵まれ、食べ物も美味しく、何よりも人の温かさがあふれる素敵な町だと思います。これからも応援していきます。

さつま町に住む友人のすすめで応募。コロナが落ち着いたら訪れてみたいです！

ラグビーの試合や合宿でかぐや姫グラウンドをよく利用しました。

地域全体としての取り組みが素晴らしいです。官民一体となつての地域活性化を応援します！

問 商工観光P R課 観光P R係（内線2284）

こんにちは
保健師です

不妊や不育の悩み、話してみませんか？

不妊症とは

生殖年齢の男女が妊娠を希望し、1年間通常の性交を継続しているのに妊娠しない場合をいいます。正常に妊娠する力を持っている男女が避妊しない場合、月経周期ごとの妊娠する確率は20%といわれています。また、10～15%は不妊症で男女どちらにも原因があるとされています。

悩んでいるあなたへ

不妊や不育で悩んでいる方、妊娠や出産、子育てで心配事がある方は、1人で不安を抱え込んでいませんか。自分の思いを素直に言葉にするだけで、気持ちが軽くなる方もいます。不安を小さくするために、あなたの気持ちを話してみませんか。相談は無料で、意思とプライバシーを尊重しながら、医師や助産師、保健師がお話をうかがいます。

専門相談窓口

鹿児島大学病院

電話相談：099-275-6839

（月曜、金曜の午後3～5時）

メール相談：funin@pref.kagoshima.lg.jp

※返信に1週間程度かかる場合があります

一般相談窓口

川薩保健所

電話相談：0996-23-3165

（平日の午前8時30分～午後5時15分）

※対面での相談もできます

さつま町役場

子ども支援課
子ども健康係

電話相談：0996-53-1111（内線2142）

（平日の午前8時30分～午後5時15分）

※対面での相談もできます（予約制）

不妊治療費の助成

鹿児島県の助成

特定不妊治療（体外受精、顕微授精）と特定不妊治療の一環として行った男性不妊治療について、1回につき30万円を上限に助成します。採卵を伴わない凍結胚移植などの治療は1回につき10万円を上限に助成します。妻の年齢によって助成回数が異なり、3回または6回が上限です。

鹿児島県ホームページ
不妊治療費助成制度のパンフレット ▶



さつま町の助成

特定不妊治療（体外受精、顕微授精）と特定不妊治療の一環として行った男性不妊治療について、1回につき20万円を上限に助成します。採卵を伴わない凍結胚移植などの治療は1回につき7万5千円を上限に助成します。妻の年齢によって助成回数が異なり、3回または6回が上限です。

さつま町ホームページ
こうのとり支援制度
（特定不妊治療費助成）▶



問 子ども支援課 子ども健康係（内線2142）